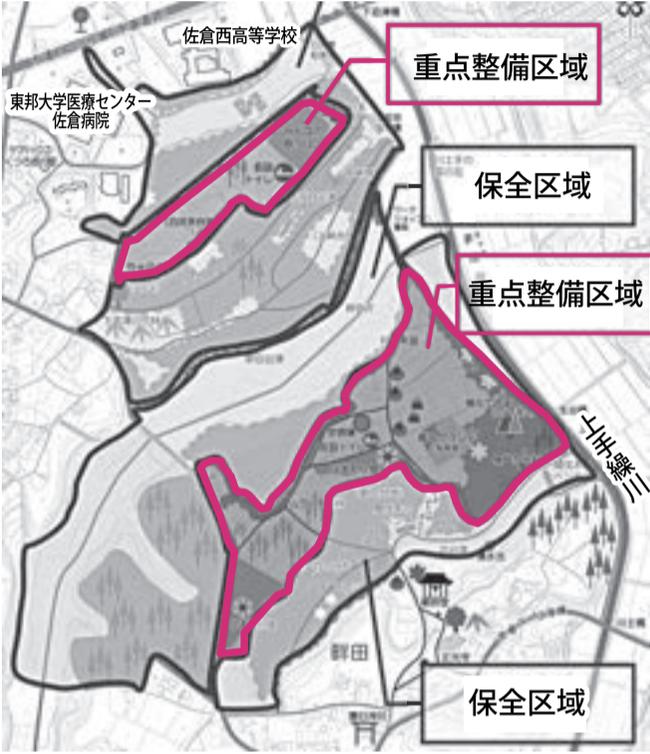




佐倉市を魅力のあるまちにするために



赤枠 ■ 民間活用の重点整備区域。 ■ 保全区域

総額100億円公共事業とは

- **ふるさと広場拡張整備事業 13億4千万円**
今年度から公園整備が本格的にスタート。
- **市道 飯野II-31号線 9億8千万円**
ふるさと広場から草ぶえの丘を結ぶ1.2kmの新設道路。山林を切り崩し、貴重な保全湿地の脇を通すため、環境破壊の問題も発生。
- **都市計画道路 岩富・寺崎線 総事業費 40億円**
東関東自動車道を越え、国道51号線につながる2.2kmのうち、2900㎡を1880万円で購入。起点・終点の土地取得ができないため、先行き不透明。
- **新佐倉図書館等複合施設 37億5千万円**
無理やり狭い土地に複合施設を建設したため、図書館は全面地下となり、当初15億円だった事業費は倍増。110トンの無駄な装飾キャノピーに1億円。
- **国立歴史博物館入口の右手の土地 8千万円**
用途不明のまま土地購入。地盤が悪く、土砂崩れが発生。

税金の使い方を考える 100億円あれば何ができる？

4月23日の市長選の結果は西田市長3万549票、対する清田のり子候補3万364票とわずか185票差でした。投票者の半数は、4年間で総事業費100億円規模の大型公共事業を押し進める西田市政に、NOの声を上げたことになりました。6月市議会でも、市民の声にどう応えるかを尋ねましたが、これまで通りとの答弁でした。

6月市議会では

またもや土地購入 佐倉里山自然公園

東邦病院裏手に広がる73・8haの旧(仮)佐倉西部自然公園用地。民有地と公有地が混在し、境界確定も済んでいません。今年度は重点整備区域(左図の赤枠)内の2haを6695万円で購入し、残り約9haも順次購入の予定。さらに残りの保全区域の私有地27・3haも同様に進めるとのことです。ざっと見積もっても総額12億円もかかりますが、土地購入の明確な目的は決まっています。

人口減少が止まらない

佐倉市の人口はこの4年間で4千人減少し、毎年千人だった出生数も、8百人を割るのは時間の問題です。原因は少子化だけではなく、残念ながら子育て世代からそっぽを向かれています。公共事業一辺倒の100億円の予算を子育てや福祉に振り向けられ、一体どれだけのことができるのでしょうか。

もっと福祉に税金を

6月議会でも「福祉施策の特色は高齢者のスマホ教室」と胸を張って所信表明した西田市長。昨年好評だったからと、今年は380万円かけて100回開催予定。これが目玉とは、問題意識の欠如しか思えません。

足の便をよくしてほしい、と切実な声が寄せられています。山王地区では、「バスの便数が少なすぎる。佐倉市から忘れられているのでは」と強く要望されました。明石市では「高齢者通院制度」として、自宅にいる要介護1以上の高齢者に、病院に通うタクシー券500円分を月4回補助しています。

もっと子育て・ 教育に税金を

給食の無償化は現在第3子以降ですが、完全無償化にした場合の費用は6億8600万円です。さらに、オーガニック給食にした場合、給食費に補助金投入が必要ですが、なかなか議論が進みません。こどもたちの健康のため、農家の所得安定のため、佐倉市のPRのために、ぜひ実現してほしいものです。

教師不足は佐倉市でも深刻です。担任がコロナ変わったたり、



市議
伊藤とし子

自習ばかりとなったり、しわ寄せはこどもたちに出ています。船橋市のように、市独自予算で産休・育休人数分の臨時の教師を確保する必要があります。「ことばの教室」のニーズは増えています。これも教師不足で縮小。

学校図書も貧弱です。図書館司書を各校に一人ずつ配置し、学級文庫の充実が求められます。

◆ ◆ ◆
暮らしやすい、活気のある佐倉市を求める声は日増しに強くなっています。子育て施策に特化し、5つの無償化に取り組んだ明石市は10年連続人口増を実現し、税収を上げました。佐倉市も公共事業や土地購入ばかりに税金を使わず、福祉や子育て施策に振り向けべきです。



飯野II-31号線予定地の入口で



貴重な飯野湿地生態系保全区域も、道路開通でどうなることか？

佐倉の子どもたちの未来に向けて



市議 松島こずえ

なくしていいの？ 市立佐倉幼稚園

閉園決定？

今年3月、「佐倉幼稚園は2023年度で閉園することを検討している」と、園長から保護者に話がありました。園児減少を理由に教育委員会で閉園の検討がされており、保護者の意見も聞かず、何の説明もありませんでした。

突然の閉園に驚いた保護者は記者会見を開き、閉園撤回を求める要望書の提出、署名集めなどに奔走。このような決定の仕方は非常に問題であると考へ、6月議会で質問しました。市は6月にパブコメを実施しましたが、結果を公表することなく、7月教育委員会会議で



閉園を決定。その会議でパブコメには反対意見が多かったとの言及もあり、不透明さが残ります。この後、8月議会で閉園の条例案が出される予定です。

3年保育化は白紙に

2021年、2年保育の佐倉幼稚園を3年保育にしてほしいと、8割の保護者が要望。8月の教育委員会会議で3年保育化が協議され、前向きに議論されました。しかし、わずか1ヵ月後に3年保育化は突如白紙に。市は、私立幼稚園協会が「佐倉幼稚園を3年保育にするこ

とは、民業圧迫だ」と反対したためと公言しています。この時、3年保育にしていれば園児減少に歯止めがかかったはず

支援が必要な子どもの環境

特別な支援が必要な園児は増加傾向にあります。佐倉幼稚園はインクルーシブな保育を掲げ、可能な限り受け入れを行ってききました。私立幼稚園に入園を断られ、佐倉幼稚園がなければ通園できなかった、私立幼稚園に入園できなかったが、集団行動についていけず、10日で退園を言い渡されたなど、悲痛な保

護者の声も届いていません。

幼児教育無償化

2019年の幼児教育無償化により、公立幼稚園の園児は減ったとされていますが、無償化後も佐倉幼稚園には一定数の園児が通園していました。無償化になるのは保育料だけなので、その他の経費は私立幼稚園の方がかかります。公立幼稚園は入園金もなく、制服等も私立より安いです。

市が周知をしていない

佐倉幼稚園が市民に知られていないのも問題です。入園につながる園庭開放等のパンフレットやポスターも、子育て世代がよく行く施設や場所にはありません。情報がほとんどなく、これでは園児が増えるはずがありません。「広く十分な告知はできていなかった」と、教育長も答弁しています。閉園を検討する前に、やるべきことをやらなかった佐倉市の姿勢が鮮明になりました。保護者は署名を続けています。

下のQRコードから署名ができます。



(8/31まで)

部活動が変わる

地域へ移行

文科省は、公立中学校の運動部の部活動の指導を、地域のスポーツクラブや民間企業、スポーツ少年団などに移行する改革を進めています。従来の部活動は、主に教員が指導していますが、地域移行では、外部の指導員が行うこととなります。

千葉県は今年度、各市町村の1校1部活の休日の部活動を地域に移行し、2026年度には平日も含め、全中学校の全部活を移行する予定です。

文科省は理由として、公立中学校の生徒数が減少し、従来の部活動の維持が難しいこと、部活動を担当する教員の長時間労働や休日指導などの負担を軽減すること、として

課題がいっぱい

地域移行では、民間企業などへの年会費や指導料が必要のため、保護者の経済的な負担が発生します。現在、部活動は学習指導要領で「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるように留意する」として

す。しかし、地域移行では、学校は事故やトラブルなどの責任を問われないなど、教育の一環としての位置付けが変わってしまいます。また、外部の指導者の確保も、地域格差があります。

佐倉市の中学校は…

今年度は白井中学校の陸上部において、休日の部活動が民間事業者へ委託されます。8月には、部活顧問の先生、校長、事業者、教育委員会で打ち

韓国視察報告 7/14～20

13名の市民視察団。さくらネットから5名参加。小中高の給食の無償化とオーガニック化を進める韓国を視察。「孤独死防止策」など、福祉についてもたくさん学びました。



ファソン市の小学校。給食はカフェテリア方式の食堂で、配食を待つ、併設の幼稚園の園児たち



有機栽培のメロン農園を訪問



ソウル市福祉財団で、AIを駆使したユニークな孤独死防止対策を聞きました。

オンライン学習会

「中学校のブカツがなくなる!」～部活の地域移行～

8月26日(土)16:00～18:00

講師：神谷拓さん
(関西大学教授、日本部活動学会会長)

主催：市民ネットワーク

TEL 043-462-0618

申込みはこちらから →



市議 五十嵐ともみ

市議会報告

子宮頸がん(HPV)ワクチンの薬害は深刻です

市議 伊藤とし子

【副反応症状の一例】



HPVワクチンの薬害に苦しむ女性たち120人が、2016年から国と製薬会社に被害救済と治療法の確立・再発防止などを求め全国4カ所で訴訟中です。接種時、中学生だった少女たちは現在25歳。佐倉市でも副反応相談者は9人いました。

まずはHPVを知ろう

性感染症であるヒトパピローマウイルス(HPV)は、8割の女性が一生に一度は感染すると言われています。

感染しても2年以内に9割が自然排出され、まれに前がん病変になっても、正常な細胞に戻ることも多く、子宮頸がんに至るのは感染者のわずか0・15%。感染から子宮頸がんになるには数年から十数年かかります。

定期的ながん検診を受けていれば、前がん病変の段階で発見

でき、深刻な事態を防ぐことができます。

ワクチンでは防げない

200種類もあるHPVの中で子宮頸がんにつながるハイリスクは15種類。ワクチンを打つてもすべての子宮頸がんを防げるわけではなく、定期的な検診は必要ですが、検診率が低いのが課題です。そのため、札幌市では「HPV自己採取検査」を行っています。佐倉市も積極的に導入すべきです。

男子に接種は必要か？

現在、小6から高1の男子にHPVワクチンの任意接種を始める自治体が出てきました。先行している海外では、女子同様に被害が出て裁判が行われています。



←詳細は「HPVワクチンのほんとうのこと」をご覧ください。



CAP大人のワークショップ

CAPを子どもたちに届ける

CAPなのはな 小室美枝子

CAPとは…Child Assault Preventionの略。子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力などの暴力から自分の心と体を守る暴力防止のための予防教育プログラム

7月10日、さくら・市民ネットワークの依頼を受け、ワークショップを開催しました。CAPは、「力の弱い子どもを大人がいかに守るか」ではなく、「子どもも権利を持っていて、自分は大切な存在であること、その権利を守るために何ができるかを考える」参加型のワークショップです。私たちのグループ(CAPなのはな)は、2000年頃から活動しています。当時は、児童虐待の防止に関する法律が制定され、地域にも虐待通告が増えたこと、また、誘拐事件が頻発するなどの背景からCAPワークショップを実施する多くの機会をいただきました。ここ数年は、性加害による学校職員の不祥事対策として依頼が入る傾向があります。残念ながら、子どもたちを取り巻く環境は、暴力と隣り合わせにあります。これからも、だれもが安心・自信・自由の権利があることを、子どもたちに伝えていきたいと思えます。

男子に接種する目的は「肛門がん、陰茎がん、中咽頭がんが防げる」ということですが、3つのがんとも、発症率が大変低いものです。リスクを考えると、男子に打つメリットがあるとは思えません。

市長、突然怒り出す

市議 松島こずえ

進まないオーガニック給食

今年3月に佐倉市は自治体や生産者、消費者が一体となって有機農業を進める「オーガニックビレッジ宣言」をしました。同時に策定された「有機農業実施計画」には、学校給食に有機農産物を導入することも記載されていますが、今年度の給食への提供は現時点で示されていません。

署名提出の場で、驚きの発言

私たちは5月に「オーガニック給食の早急な実現を求める要望書」と、集めた署名を市長に提出しました。その際、市長は「給食センターで一括調理の方が、オーガニック給食を進めやすいこともある」と発言。佐倉市は小中学校ごとに自前で調理する、自校式給食が大きな特徴です。子どもたちに温かい給食を食べてほしい、そして食育の観点からも自校式給食は守っていくべきです。オーガニック給食を実現するために、自校式給食がなくなるとは本末転倒です。

議会答弁で恫喝!?

6月議会で市長は私の質問に対し、「署名提出のような、限られた出席者のフランクな場で言ったものを、あたかも私の意思であるかのような表現は、市民に誤解を与える。今後の対応も合わせて考えさせていただきます」と声を荒げて答弁。市民から、「これは恫喝ではないか」との声が上がりました。発言撤回を求める抗議文を市長に提出しましたが、回答はありません。

→ QRコードより、録画映像を視聴できます。(32分39秒あたりから)



マイナンバーカード 返納しました

トラブル続きのマイナンバーカードを返納する人が増えています。6月30日の東京新聞朝刊1面トップの「ニュース、あなた発」欄に、「マイナカード返納続々」というタイトルで、佐倉市在住の女性のコメントが載りました。「色々な個人情報紐づけられて、国にすべて把握されるようでおかしいと思った」。発言の主は佐倉市在住の目崎真弓さん。取材に至った経緯を寄稿いただきました。



6月28日、東京新聞からラインによるマイナカードに関する情報提供の呼びかけがあり、2日前に返納したばかりの私が29日電話取材に応じた。取材で「市役所の窓口で返納を告げると、理由は？信用できないからですか？」と担当者が先に言ってきたので、そうだと答えた」など、事実を伝え、さらに返納の理由を話した。翌30日には伝えた内容で一面トップ記事に。記者の呼びかけ、取材ニュース発信のスピード感に本来の新聞の役割を感じた。良い社会を作るには、政府への批判の声を速やかに伝えるマスコミが生き返らなければならない。(目崎真弓)

7月県議会報告

いのちと暮らしと食を守るために

県議 川口えみ



新たな公害 PFAS

PFASは有機フッ素化合物の総称です。油、汚れ、水を良くはじき、熱に強い、消火剤やフライパンのコーティング剤などに使われてきました。しかし、ほとんど分解されず、体内に蓄積され、がんを引き起こすなど、大変厄介な物質です。

日本では、暫定指針値をPFOSとPFOAの合計で1リットルあたり50ナノグラム(ng/L)と設定しており、水質基準項目には入っていません。そのため、PFAS濃度の測定や対策は義務付けられておらず、自治体の判断で調査・対応しています。

沖縄の米軍基地で泡消火剤に含まれているPFASが基地の外に流出し、環境汚染を引き起こしました。また、横田や厚木など米軍基地から度々漏出があり、



5年前の洪水で、51人の犠牲者を出した岡山県倉敷市真備町を視察。(7/23)



日本最大規模の産廃処分場(君津市新井総合)を視察。(7/27)

周辺住民への健康被害が起きています。

千葉県では

2020年から水道水のPFOS・PFOAを測定しています。2021年度の最高値は、柏井浄水場の原水で、30ng/Lでした。粒状活性炭処理で数値を1桁に下げ、飲み水として提供しています。

また、河川・湖沼での水質測定を2021年から行っており、白井市で270ng/L、千葉市で57ng/Lと、2か所で暫定指針値を超過しました。いずれも数値が高い原因は不明とのこと。今後しっかりと取り組むよう、千葉県に提案していきます。

ある日、突然ひき逃げ犯に!?

2年前、佐倉市民が車を運転中、通行者をひき逃げしたという容疑で書類送検され、結果は不起訴となりましたが、冤罪防止という観点から、警察常任委員会で質問しました。

被疑者のAさんが捜査を不満として、県警に苦情申立をしましたが、「警察官らの対応に問題は認められませんでした」という極めて素っ気ない回答でした。詳しい説明はまったくありません。

Aさんの車には最新式のドライブレコーダーが搭載されており、私も映像を見ましたが、ひき逃げに当たるとは見えませんでした。ドライブレコーダーの映像は証拠になるのか聞くと、「証拠になる場合、身元の潔白を証明できるかなりません。冤罪はあつてはなりません。たどえ不起訴で終わっても、当事者に一生トラウマとなって残ります。警察には、より一層、厳正かつ公正な捜査を強く要望しました。

公開 市民ネットの議員報酬の使途

県議報酬 (前県議 伊藤とし子) 2022.1月~12月 (単位:円)

収入		支出	
議員報酬	10,560,000	* 議員活動費	2,400,000
期末手当	4,435,200	* 議員期末手当	400,000
期末手当アップ分	70,200	県ネットへの寄付	4,427,500
所得税	▲2,336,400	(人件費、通信費、事務所経費、元気ファンド等)	
市県民税	▲1,185,000	市ネットへの寄付	2,640,000
厚生会等控除	▲48,000	元気ファンドへ寄付	70,200
国民健康保険料	▲908,300		
退職引当金	▲650,000		
合計	9,937,700	合計	9,937,700

*議員個人は、議員活動費と議員期末手当のみ受け取ります。

市議報酬 (松島こずえの場合) 2022.1月~12月 (単位:円)

収入		支出	
議員報酬	5,520,000	* 議員活動費	2,400,000
期末手当	2,346,000	* 議員期末手当	400,000
費用弁償(交通費)	11,655	市ネットへの寄付	2,940,375
審議会報酬	15,200	(人件費、通信費、事務所経費等)	
所得税	▲527,480	県ネットへの寄付	193,200
互助会費	▲15,000	(元気ファンドへの寄付を含む)	
視察費補填	▲20,150		
市県民税	▲489,100		
国民健康保険	▲592,000		
国民年金	▲195,550		
退職引当金	▲120,000		
合計	5,933,575	合計	5,933,575

政務活動費

県政務活動費 (2022年度)

科目	金額(円)
調査研究費:「反貧困ささえあい千葉」支援活動他	201,703
研修費:研修会等参加費	68,238
会議費:会費(反原発自治体議員連盟)こどもサポートネット他	33,569
資料購入費:雑誌・新聞購読料、会報等	290,029
広報費:県政レポート地域新聞折込み代	687,290
事務所費:事務所賃料の按分	925,320
事務費:事務用品、携帯電話、議会専用FAX、ガソリン代等	85,738
人件費:県政担当、県議事務担当者	1,680,000
合計	3,972,208

2022年度県政務活動費
2022年4月~2023年3月(12カ月分)
議員 35万/月×12カ月=420万円
会派 5万/月×12カ月=60万円
合計 480万円

*今回は県議・市議ともにコロナ禍で活動が少なく、返金額が多くなりました。県議は残額707,792円、市議は368,454円をそれぞれ県と市に返還しました。

市政務活動費 (3人分) (2022年度)

科目	金額(円)
調査研究費:情報開示手数料	430
研修費:学習会、交通費	173,760
広報費:議会速報印刷・折込代	425,037
資料購入費:書籍代、資料代等	253,596
事務費:インターネット料金、事務用品等	218,731
合計	1,071,554

2022年度市政務活動費
2022年4月~2023年3月(12カ月分)
年額 38万円×3名=114万円
+利子8円
合計 1,140,008円

DVD上映会

「老後の資金がありません」主演:天海祐希
10月29日(日)13:30~ 佐倉市立美術館ホール 参加費:無料
人生100年時代、老後資金は2000万円必要!? *申込みTEL:043-462-0618 または↑普通の主婦が、現代日本が抱える老後のお金の危機に立ち向かう映画です。

まくらネットギャラリー

「福田里美イラスト展 ~生まれいでる絵・それは私の心か~」
8月31日(木)まで。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

千葉県議会9月定例議会(予定)

9/13(水)開会~10/11(水)閉会
9/20(水)~22(金)、25(月)~28(木) 一般質問
10/2(月)~5(木) 常任委員会

佐倉市議会8月定例議会(予定)

8/28(月)開会~9/26(火)閉会
9/4(月)~7(木) 一般質問
9/11(月)~14(木) 常任委員会
9/19(火)~22(金) 決算審査特別委員会

議会予定

傍聴に
おいください。
インターネット
でも視聴可能